

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 27 年 5 月 21 日 (2015.5.21)

【公開番号】特開 2013-228531 (P2013-228531A)

【公開日】平成 25 年 11 月 7 日 (2013.11.7)

【年通号数】公開・登録公報 2013-061

【出願番号】特願 2012-99994 (P2012-99994)

【国際特許分類】

G 0 9 G 3/30 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 3/30 K

G 0 9 G 3/20 6 2 4 B

G 0 9 G 3/20 6 1 1 H

G 0 9 G 3/20 6 4 2 A

G 0 9 G 3/20 6 4 2 J

G 0 9 G 3/30 J

H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 4 月 3 日 (2015.4.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の走査線と、

複数のデータ線と、

前記複数の走査線のうち、一の走査線と、前記複数のデータのうちの、第 1 データ線とが交差する位置に対応して設けられた第 1 画素回路と、

前記一の走査線と、前記複数のデータのうちの、第 2 データ線とが交差する位置に対応して設けられた第 2 画素回路と、

前記第 1 データ線に対応した第 1 入力端子に供給された第 1 データ信号の電位振幅が第 1 圧縮率で圧縮されるように、当該第 1 データ信号の電位をシフトして前記第 1 データ線に供給する第 1 レベルシフト単位回路と、

前記第 2 データ線に対応した第 2 入力端子に供給された第 2 データ信号の電位振幅が前記第 1 圧縮率とは異なる第 2 圧縮率で圧縮されるように、当該第 2 データ信号の電位をシフトして前記第 2 データ線に供給する第 2 レベルシフト単位回路と、

を有し、

前記第 1 画素回路および第 2 画素回路の各々は、

発光素子と、

前記一の走査線が選択されたときのゲート・ソース間の電圧に応じた電流を前記発光素子に供給する駆動トランジスタと、

を含む

ことを特徴とする電気光学装置。

【請求項 2】

共通端子に供給されたデータ信号を、第 1 期間に前記第 1 入力端子に前記第 1 データ信号として供給し、前記第 1 期間とは異なる第 2 期間に前記第 2 入力端子に前記第 2 データ信号として供給するデマルチプレクサを有し、

前記第 1 画素回路と第 2 画素回路とは、互いに異なる色に対応する、
ことを特徴とする請求項 1 に記載の電気光学装置。

【請求項 3】

前記第 1 データ信号と前記第 2 データ信号とは、互いに同一ビット数のデジタルデータをアナログ信号に変換したものである

ことを特徴とする請求項 2 に記載の電気光学装置。

【請求項 4】

複数の走査線と、

複数のデータ線と、

前記複数の走査線のうち、一の走査線と、前記複数のデータのうちの、第 1 データ線とが交差する位置に対応して設けられた第 1 画素回路と、

前記一の走査線と、前記複数のデータのうちの、第 2 データ線とが交差する位置に対応して設けられた第 2 画素回路と、

前記第 1 画素回路および第 2 画素回路の各々は、

発光素子と、

前記一の走査線が選択されたときのゲート・ソース間の電圧に応じた電流を前記発光素子に供給する駆動トランジスターと、

を含む電気光学装置の駆動方法であって、

前記第 1 データ線に対応した第 1 入力端子に供給された第 1 データ信号の電位振幅が第 1 圧縮率で圧縮されるように、当該第 1 データ信号の電位をシフトして前記第 1 データ線に供給し、

前記第 2 データ線に対応した第 2 入力端子に供給された第 2 データ信号の電位振幅が前記第 1 圧縮率とは異なる第 2 圧縮率で圧縮されるように、当該第 2 データ信号の電位をシフトして前記第 2 データ線に供給する

ことを特徴とする電気光学装置の駆動方法。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の電気光学装置を備える

ことを特徴とする電子機器。